

所在地:下新田1133

(市郷土博物館)

所有者:飽富神社

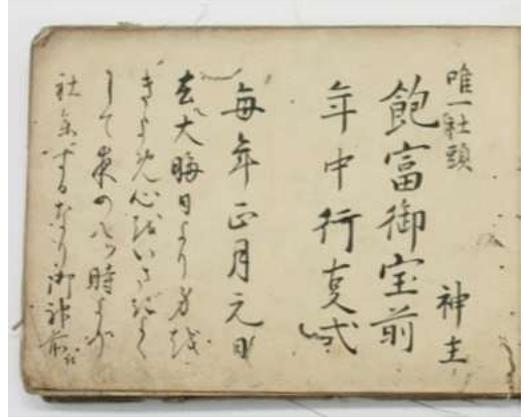
ゆいいつしゃとうねんちゅうぎょうじちよう

市指定

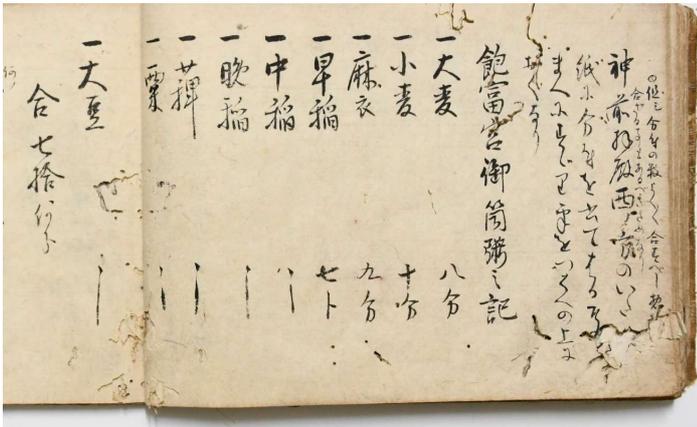
# 唯一社頭年中行事帳



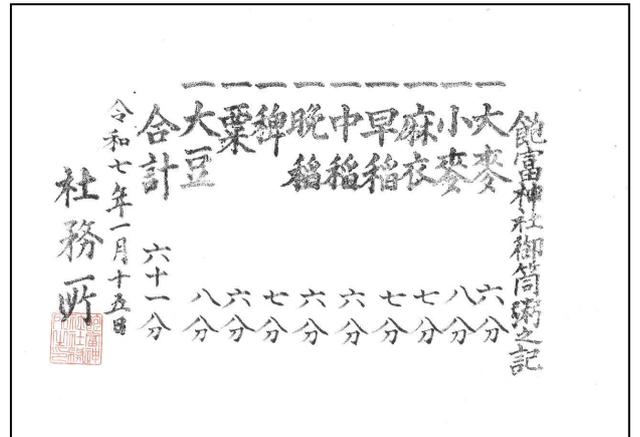
唯一社頭年中行事帳



正月元旦の記述から始まる



資料の中の筒粥(つつがゆ)神事についての記述



現在行われている筒粥神事において、結果を氏子に知らせる記録用紙

この資料は、飽富神社において18世紀後半に行われていた、1年間の行事内容について記された古文書です。執筆者は代々飽富神社で神主を務めていた深川氏であり、元旦から大晦日までの行事内容だけではなく、お正月の領主への挨拶の仕方まで記しており、神主の業務マニュアルと呼べる古文書です。

既に廃絶した行事についても知ることができるほか、筒粥(つつがゆ)神事などの現在も行われている行事が時代とともに行事の内容が変化していく様子が理解でき、その歴史性を裏付ける資料でもあります。

神社のお祭りの形態が画一化された現代において、江戸時代に行われていた年中行事の内容を復元することができる資料でもあり、全国的にみても貴重です。